

# 彙 報

研究活動等 (2021年1月～2021年12月) (学科別五十音順)

## 総合政策学科

石山 宏

### 1. 著書・論文等

- (1) 『検定簿記講義/2級商業簿記〈2021年度版〉』(共著)中央経済社, 2021年3月。
- (2) 『検定簿記ワークブック/2級商業簿記〈第7版〉』(共著)中央経済社, 2021年3月。
- (3) 『27業種別 簿記・会計の処理と表示』(共著)中央経済社, 2021年11月。

### 2. 社会活動等

- (1) 山梨県出資法人経営検討委員会委員

熊谷 隆一

### 1. 論 文

- (1) 「ドイツで実体験した新型コロナウイルス感染症対策について - 2019年9月から2020年8月までの海外研修報告を兼ねて-第1回」(『自治研かながわ月報』第190号〈2021年6月号〉、pp.22-28、公益社団法人・神奈川県地方自治研究センター、2021年6月25日発行)
- (2) 「ドイツで実体験した新型コロナウイルス感染症対策について - 2019年9月から2020年8月までの海外研修報告を兼ねて-第2回」(『自治研かながわ月報』第191号〈2021年8月号〉、pp.28-32、公益社団法人・神奈川県地方自治研究センター、2021年8月25日発行)
- (3) 「ドイツで実体験した新型コロナウイルス感染症対策について - 2019年9月から2020年8月までの海外研修報告を兼ねて-第3回」(『自治研かながわ月報』第192号〈2021年10月号〉、pp.22-25、公益社団法人・神奈川県地方自治研究センター、2021年10月25日発行)
- (4) 「ドイツで実体験した新型コロナウイルス感染症対

策について - 2019年9月から2020年8月までの海外研修報告を兼ねて-第4回」(『自治研かながわ月報』第193号〈2021年12月号〉、pp.21-26、公益社団法人・神奈川県地方自治研究センター、2021年12月25日発行)

### 2. 評 論

- (1) 「コロナ禍で問い直される都市と地方の関係 - 持続可能なまちづくりと自治体学の原点 -」(自治体学会学会誌『自治体学』Vol.34-2〈2021年3月号〉、pp.2-3、自治体学会、2021年3月31日発行)

### 3. 論文査読

- (1) 自治体学会学会誌『自治体学』掲載論文査読(2021年6月～7月)

### 4. その他

- (1) 社会的活動(学会評議員)  
自治体学会評議員(地域選出)(2016年8月19日～、再選・継続)
- (2) 社会的活動(研究所理事)  
(公社)神奈川県地方自治研究センター理事(2019年4月～、継続)
- (3) 社会的活動(学会常務理事)  
富士学会(2021年4月～)

箕浦 一哉

### 1. 学会発表

- (1) 箕浦一哉「サウンドスケープ概念からみた音環境政策の論点」日本音響学会騒音・振動研究会、オンライン開催、2021年3月26日。
- (2) 兼古勝史・箕浦一哉・土田義郎「ミュージックサイレンに住民は何を聞いたか：浜松市における質問紙調査の分析」日本音響学会騒音・振動研究会、オンライン開催、2021年3月26日。
- (3) 箕浦一哉・大門信也・兼古勝史「市民との

協働によるサウンドスケープ調査：浜松市における波音調査の経験から」日本サウンドスケープ協会2021年度秋季研究発表会，オンライン開催、2021年12月12日。

## 2. その他

- (1) 講演「移住者を受け入れるということ：早川町でのゼミ活動から」、山梨県リニア交通局地域創生・人口対策課主催「移住コンシェルジュ研修」、山梨県防災新館、2021年2月12日。
- (2) 講演「脱炭素の基礎知識」、甲府市地球温暖化対策地域協議会主催「地球温暖化対策セミナー」、山梨県立図書館、2021年2月27日。
- (3) 講演「景観保全活動における協働を考える：「八ヶ岳南麓風景街道の会」の活動を例に」、山梨県景観づくり推進室主催「地域景観リーダー講習会」、オンライン開催、2021年3月4日。
- (4) 解説「サウンドスケープ概念からみた音環境政策の論点」、『サウンドスケープ』21、2021、pp.101-105。

## 国際コミュニケーション学科

## 伊藤ゆかり

## 1. 論文

- (1) 単著 (2021年3月)「ウォレス劇における生者と死者の身体性」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第16号、pp. 15-24.

## 2. その他

- (1) 論考 (2021年10月)「亡霊の演劇と演劇の恐怖」、『早稲田文学』二〇二一年秋号、pp. 310-17.
- (2) 作品解説 (2021年12月)「解説 ウィッグとともに語られる彼女たちの歴史」、『ミネオラ・ツイズ』、小鳥遊書房、pp. 142-57.

## 賀南

## 1. 論文

- (1) 単著「中国語授業におけるタスク中心型言語学習ゲームの実践例とその効果—オンライン授業での導入の試み—」『山梨国際研究』第16号、2021年3月5日発行、pp.35-45.

## 2. 学会発表

- (1) 賀南、馬叢慧「中国語“是……的”構文の習得について—文法項目導入におけるコミュニケーション活動の試み—」2021年度日中言語文化教育推進会九州・山口・沖縄地区中国語教育シンポジウム (久留米大学福岡サテライト・オンライン開催)、2021年12月4日 (科研JP21K00682)

## 3. 競争的資金の獲得

- (1) (研究代表者) 科学研究費補助金基盤研究(C) (一般) 21K00682「中国語教育文法に基づくタスク中心型言語学習ゲームを取り入れた初級教材の開発と効果」2021-2024 (研究分担者: 馬叢慧、下関市立大学特任教員)

## 高野美千代

## 1. 研究論文等

- (1) 論文 [単著]「17世紀日英における若者向

け作法書—その普及と背景」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第16号、47-58頁、2021年3月

- (2) 学会発表 [単独]「ウェンセスラウス・ホラーの版画から読むイライアス・アシュモール著『ガーター騎士団』」英米文化学会第163回例会、2021年3月13日 (オンライン)

## 2. 外部資金による研究活動

- (1) 科研費挑戦的研究 (萌芽) 研究代表者、2019年度～研究継続中  
課題名:「近世英国と日本における書物文化の偶発的パラレリズム研究」
- (2) 科研費基盤研究B 研究代表者、2017年度～研究継続中  
課題名:「ウィリアム・カムデンの系譜におけるブリティッシュアイデンティティの探究と成立」

## 張兵

## 1. 著作

- (1) 『アジア共同体の構築—実践と課題—』 (共著) 日本僑報社 2021年3月

## 2. 論文

- (1) 「田岡嶺雲の王漁洋研究について」(単著) 王漁洋文化研究センター『王漁洋文化』第35期 2021年5月
- (2) 「橋本循の王漁洋研究」(単著) 齊文化研究院『稷下学刊』第14期 2021年6月
- (3) 「田岡嶺雲の王漁洋研究」(単著) 齊文化研究院『稷下学刊』第15期 2021年9月
- (4) 「高橋和巳注『王士禛』述評」(単著) 王漁洋文化研究センター『王漁洋文化』第36期 2021年10月
- (5) 「中国とアジア諸国・地域間の国際観光による人の移動」日本華人教授会議『東アジア論壇』第17号 2021年11月

## 3. 学会発表、メディア出演等

- (1) 「ウイズコロナ・アフターコロナ時代における日中の観光政策の比較」日本華人教授会 WeChat 公式アカウント  
gh\_c385e1d141eb2021年8月

(2) 「ポストコロナに向けた中国の観光政策の転換について」アジア政経学会2021年春季大会2021年6月19日慶應義塾大学

(3) 「東京五輪の経済効果等について」シンガポールテレビ (Mediacorp) 出演2021年7月16日

<https://www.8world.com/stories/focus-tokyo-olympics-during-covid-19-1528911>

#### 4. その他研究活動及び社会貢献

(1) NPO法人山梨県中国語・国際交流会副理事長 (2021年度)

(2) NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会副代表理事 (2021年度)

(3) 日中関係学会宮本賞推薦委員 (2021年度)

(4) 日本華人教授会議会報『東アジア論壇』編集委員 (2021年度)

### 名和敏光

#### 【表彰等】

1. 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員、2017年5月～現在。

2. 山東大学儒学高等学院国際漢学研究中心兼職教授、2017年5月～現在。

#### 【著書】

1. 共著：石川忠久先生星寿記念論文集刊行会編『菊を採る東籬の下 石川忠久先生星寿記念論文集』、汲古書院、2021年10月、716頁。

#### 【学術論文・翻訳】全て単著

1. 名和敏光「“皋”與“罍” (修訂版)」、徐少華・谷口満・Lothe von Falkenhausen主編『楚文化与長江中游早期開發國際學術研討會論文集』、武漢大学出版社、2021年2月、374～378頁、査読有、中国語。

2. 名和敏光「虎溪山漢簡“X日而憂置城Y歳”考釋」、『復旦大学出土文献与古文字研究中心HP』、復旦大学、2021年5月17日、単著、1～12頁、査読有、中国語。

3. 名和敏光「虎溪山漢簡《閭昭》(下)綴合」、『復旦大学出土文献与古文字研究中心HP』、復旦大学、2021年6月30日、1～8頁、査読有、中国語。

4. 名和敏光「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲編《祭(三)》《宜忌》《諸日》《祭(二)》綴合校釈」、石川忠久先生星寿記念論文集刊行会編『菊を採る東籬の下 石川忠久先生星寿記念論文集』、汲古書院、2021年10月、383～402頁、査読無、日本語。

#### 【学会報告】全て単独

1. 名和敏光「虎溪山漢簡《閭昭》初探」、中国出土資料学会2021年度第1回大会、オンライン、2021年7月10日。

2. 名和敏光「虎溪山漢簡『閭昭』について」、虎溪山出土文献研究会、於伝統医学思舎、2021年11月27日。

#### 【獲得資金】

1. 研究代表者、日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (C)、研究課題番号：19K00057、研究分担者：末永高康 (広島大学教授)、武田時昌 (関西医療大学教授)、総額：4,420千円)、「最新出土資料による陰陽五行思想の総合的研究」、2019年4月～2022年3月。(継続)

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-19K00057/>参照。

2. 研究分担者、日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (B)、研究課題番号：20H01301、研究代表者：水口幹記 (藤女子大学准教授)、総額：17,680千円)、「5～12世紀の東アジアにおける〈術数文化〉の深化と変容」、2020年4月～2023年3月。(継続)

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-20H01301/>参照。

#### 【学会役員・その他】

1. 中国出土資料学会理事、2016年4月～現在。

2. 日本道教学会理事、2020年1月～現在。

3. 日本漢字学会評議員、2020年11月～現在。

4. 東京大学東洋文化研究所研究班「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月～現在。

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html>参照。

萩原孝恵

1. 研究論文、調査報告

- (1) 西部由佳、岩佐詩子、金庭久美子、坂井菜緒、萩原孝恵、奥村圭子 (2021)「日本語インタビューテストにみられる応答開始時のレベル別特徴—『くり返し』と『考えている』表現に注目して」『創立30周年記念号 小出記念日本語教育研究会論文集』29号: 39-54、2021/03 [査読有]
- (2) 萩原孝恵、池田充裕 (2021)「山梨県の日本語支援体制に関する調査—公立高校における特別措置の意義」『山梨県立大学 国際政策学部紀要』第16号: 73-81、2021/03

2. 研究発表、その他

- (1) 萩原孝恵、池谷清美「あのう、フィラーを教えますか？」(科研JP19K00580)、タイ国日本語教育研究会第33回年次セミナー分科会口頭発表、2021.03.20.
- (2) 萩原孝恵「気になる非言語コミュニケーション—舌打ちや笑い」(科研JP1900580)、日本語教育学会国際連携委員会主催「世界中の日本語教育関係者のためのオンライン交流会」発題、2021.03.20.
- (3) 萩原孝恵「舌打ちが伝えるメッセージ映像データの観察を通して」(科研JP19K00580)、第24回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム (16th EAJS International Conference 2020 共催) ポスター発表、2021.08.27.
- (4) 萩原孝恵、西部由佳「実習生が考える『いい授業』とは?—実習前のブレインストーミングから見えてくるもの」日本語教育学会東北支部集会交流ひろば出展、2021.12.11.

3. 研究助成

- (1) 研究代表「言語文化に起因する価値観とフェイスが表出する『舌打ち』と『笑い』の実証的研究」科学研究費補助金基盤研究 (C) (一般) 19K00580、2019-2022.
- (2) 共同研究「コミュニケーションのための効果的な相槌や受け答え—日本語OPIにおける母語別特徴」日本語OPI研究会、2021-2022.

- (3) 研究代表「外国にルーツのある子どもたちの未来をつむぐ継続的支援と包括的支援のために—高校進学ガイダンスの開催とその必要性」山梨県立大学地域研究交流センター事業、2021.

4. 研究員、講師

- (1) 国立国語研究所共同研究プロジェクト共同研究員 (2021.04-2022.03)
- (2) 文化庁令和3年度「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」子ども初任コース講師 (2021.06.10-2022.03.31)

5. 社会貢献

山梨県地域日本語教育推進会議委員、山梨県外国人児童生徒支援連絡会議委員、山梨県大規模小売店舗立地審議会委員、甲府市多文化共生推進委員会委員